

第143回老年学・老年医学公開講座

薬のイロハ！

あなたも薬博士

これを聞けば

13:30~14:00

講演1

『ヒョウタンから駒、副作用から良薬！』

東京都健康長寿医療センター研究所
老化脳神経科学研究チーム研究部長

遠藤 昌吾



薬には“副作用”がつきものです。最近、強い副作用のために姿を消した薬が良薬へと姿を変えています。「ヒョウタンから駒」のたとえの様に「副作用から生まれる良薬」についてお話しします。

14:00~14:30

講演2

『高齢者の賢い薬の飲み方・減らし方』

東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座教授
東京大学医学部附属病院副院長老年病科科長

秋下 雅弘



高齢者は多病ゆえに多剤服用になりがちです。しかし、多剤服用は飲み忘れや副作用の増加に密接に関わるので、5種類までを目安に見直しが必要です。高齢者にふさわしい薬との付き合い方について解説いたします。

14:45~15:15

講演3

『入院時の服薬指導とかかりつけ薬局のススメ』

東京都健康長寿医療センター
薬剤科長

森 淑子



入院中の薬剤師による指導について、実際にどのような流れでどのようなことを指導しているのか紹介します。また、退院後のかかりつけ薬局の役割についてお話しします。

司会

東京都健康長寿医療センター研究所
老化制御研究チーム研究部長

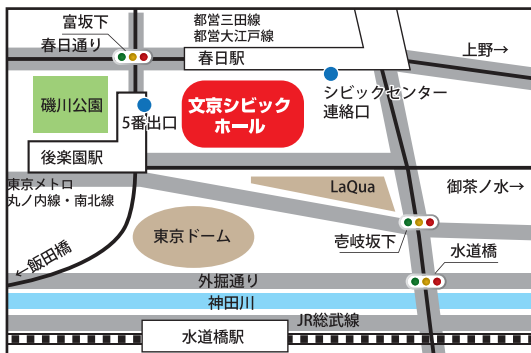
石神 昭人

15:30~16:00 質疑応答



会場 文京シビックホール 大ホール

東京都文京区春日1-16-21



東京メトロ丸ノ内線・南北線 後楽園駅5番出口直結
都営地下鉄三田線・大江戸線 春日駅(文京シビックセンター前)
文京シビックセンター連絡通路 直結
JR中央・総武線水道橋駅 徒歩約10分

主催 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター

共催 文京区、東京都老人クラブ連合会

平成28年

9月12日月

13時15分から16時15分まで
(開場12時15分)

当日先着 | 申込不要
1,800名 | 入場無料

手話通訳あり



地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター
広報普及係

03-3964-1141 (内線1239)

ホームページ <http://www.tmg Hig.jp/>

定員に達した場合はご入場いただくことができませんので、ご了承ください。

R70

薬のイロハ!

これを聞けば

あなたも薬博士



クスリ(薬)、逆から読むとリスク(危険)。

薬は、病気の治癒を助けてくれます(主作用)。一方、同時に予期しない効果(副作用)をもたらす場合があります。また、その副作用が、今度は他の病気の治療に役立つ主作用になる場合もあるのです。薬は不思議ですね。

ご存じですか? 1日に飲む薬の数は、年齢と共に増加するといわれています。若いときには、薬など飲んだこともない人でも、歳を取るにつれ、身体のおちこちに不調が出始めて、1錠、2錠と薬の数が増えていきます。気がつくと1日に10錠近くも飲んでいる場合があります。増えた薬の数、減らす方法をお教えします。

私たちは誰もが病気になり、いつかは病院に入院することがあります。入院中は、点滴をすれば薬を飲まなくてもいいの? 病院の薬剤師って何しているの? 退院したら薬をどうすれば良いの?

皆さんに身近な薬でも、疑問に思うことや意外にも知らないことがたくさんあります。今日の老年学・老年医学公開講座では、薬のイロハをお伝えし、皆さんに薬博士になっていただきます。

東京都健康長寿医療センター研究所
老化制御研究チーム研究部長

石神 昭人

地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター
広報普及係

03-3964-1141 (内線1239)

ホームページ <http://www.tmgig.jp/>